幸田町議会議員　～安全・安心で魅力あるまちづくり～

たきょう 毅（つよし）



町政レポート　2026.10　30

発　行：たきょう毅後援会
連絡先：〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山５　TEL 050-1727-2328　FAX 0564-56-7918

９月議会報告　会期＝令和8年９月2日～25日

幸田町議会公式
YouTubeチャンネル→

令和8年第3回定例会は、会期24日間で開催されました。
本定例会では、令和7年度一般会計・特別会計決算認定をはじめ、令和8年度補正予算、条例改正などについて審議を行いました。
私は一般質問で「若者・女性に選ばれる行政区運営」をテーマに質問し、地域活動の担い手不足対策やデジタル活用による負担軽減について提言しました。

９月補正予算　2億2,243万円追加（主な使い道）

■交通
チョイソコ全町展開など公共交通を充実

■防災
防災資機材や避難所環境を整備

■福祉
高齢者・障がい者支援を充実

■教育
学校施設や教育環境を改善







トピックス　幸田町の財政状況をチェック！　令和7年度決算



【実質収支】　8億9,269万円の黒字　【財政力指数】　1.10

■幸田町の財政は？

【良い点】
- ✓ 実質収支は8億9,269万円の黒字
- ✓ 財政力指数は1.10
  （普通交付税に頼らない健全な財政基盤）
- ✓ 町税収入は増加
  法人町民税や固定資産税が堅調に推移
- ✓ 水道・下水道事業も安定経営

【今後の課題】
- ▲ ふるさと寄附金は約25億円
  前年度比16.7%減
- ▲ 高齢化に伴い社会保障費が増加
- ▲ 公共施設の維持更新費が増加
- ▲ 防災・子育て支援など継続的な
  財源確保が必要



■たきょう毅の視点

決算審査では、公共交通、防災、子育て支援、高齢者福祉など、町民生活に直結する施策の成果と課題を重点的に検証しました。
9月補正予算では、交通、防災、福祉、教育分野への必要な投資を確認するとともに事業効果と財源の妥当性をチェックしました。
一方で、ふるさと寄附金の減少や社会保障関係経費の増加が続いており、今後の財政運営には一層の工夫が求められます。
将来世代への負担を抑えながら、働く世代とその家族、高齢者や子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを進めていくことが重要です。



一般質問

※一般質問動画→

「若者・女性に選ばれる行政区運営」

私の想い

共働き世帯の増加や価値観の多様化により、地域活動の担い手不足が課題。 若者や女性が参加しやすいしくみづくりを進め、「住みやすさ→地域愛着→地域参加」の好循環を生み出すことが必要。



地域のつながりを育む
「こうた夏まつり」

現状

行政区加入率の低下や役員の担い手不足が進行。 共働き世帯の増加により活動参加が難しくなり、若者や女性の意見を取り入れる環境整備が求められている。

一般質問

主なポイント
① 行政区加入率向上策、② 若者・女性の参加促進、③ 地域活動の負担軽減、
④ 電子回覧板の活用、⑤ 地域活動のデジタル化、⑥ 転入者の地域参加支援、
⑦ 地域の声を行政へ反映する仕組み、⑧ 持続可能な地域コミュニティの構築

回答

総務部長▼
① 行政区と連携し加入促進を継続、② 自治組織の担い手確保を支援、
③ 地域活動の負担軽減を検討、④ 回覧板アプリの活用を推進、
⑤ デジタル技術導入を支援

企画部長▼
⑥ 町長対話集会を開催、⑦ 地域の声を施策へ反映、
⑧ 若者・女性が参加しやすい環境づくりを推進



対話とデジタル活用により、
地域活動へ参加しやすい環境づくりを進める方針が示された

チョイソコ全町運行スタート！

10月1日から、えこたんバスを再編し、予約型乗合交通「チョイソコ」を3台体制へ増車。町内全域で利用できるようになりました。通院や買い物だけでなく、地域活動への参加や運転免許返納後の移動支援など、暮らしを支える交通ネットワークの充実が期待されます。えこたんバスの運行状況も、役場ロビーで把握できるようになり、乗り継ぎの不安解消を図りました。

■たきょう毅の視点
公共交通は移動手段だけでなく、地域のつながりを支える基盤です。利用しやすく持続可能な公共交通の実現を求めていきます。



えこたんバス運行の見える化



家族で登録を！

地域の困りごと、町政に対するご意見・ご要望などございましたら
お気軽に「たきょう毅くらしの相談」をご活用ください♪
https://takyo-giin-dnwu.com/

たきょう毅 検索

※【お願い】町政レポート配布にあたり、氏名および住所の相違や変更がありましたら ご連絡ください。（連絡先：表面/上部記載）